

機関番号：14401
機関名：大阪大学

繰越（翌債）を必要とする理由書

間接経費は、すでに執行済みまたは執行予定がある場合は繰り越す必要はありません。部局事務担当者にご確認ください

機関番号：14401 研究機関名：大阪大学
 課題番号：21……… 繰越（翌債）承認要求額： 2,120,000 円（内訳：直接経費 2,120,000 円 ・間接経費 0 円）
 研究課題名：○○の研究

課題番号と研究課題名は、誤りの無いよう記載すること

時期が一致するように記載してください

当初計画及び変更後の計画		当初の研究計画
<当初計画>	<変更後の計画>	(研究概要) ※2~3行程度 平成21年11月までにマウスを用いた○○実験を終え、平成22年3月までに○○細胞を利用した免疫制御法を最終評価する予定であった。 ①キまたは⑥ウ以外を選択した場合、この欄は記入不要ですが、別紙「繰越理由確認書」に理由を記入願います
○ ノックアウトマウスによる○○実験 (H21.4~H21.11) ○ ○○の免疫制御法評価 (H21.12~H22.3) ○ 成果取りまとめ (H22.3)	○ ノックアウトマウスによる○○実験 (H21.4~H21.11) ○ ○○実験及びデータ解析 (H21.12~H22.4) ○ ○○の免疫制御法評価 (H22.5~H22.8) ○ 成果取りまとめ (H22.8)	
繰越事由の発生した時期 平成21年11月	補助事業の完了時期 平成22年8月31日：5ヶ月延長	記号等 ①キ 計画に関する諸条件（新たな知見の発見） (①キ及び⑥ウの場合は、具体的な内容を記載) ※2~3行程度 平成21年11月、○○遺伝子を制御することにより○○細胞を活性化させずとも○○できるという興味深い知見を得たため、○○について実験の施行及びデータ解析を行う必要が生じ、5ヶ月の遅延が生じた。

繰越事由に影響のない計画は、当初計画と同じ期間で記入すること

完了時期を合わせる

（注）以下の事由（記号等）については、具体的な内容の記載を記載する必要がない事由（事由（記号等）のみを選択）	
時期が一致するように記載してください	時期が一致するように記載してください
①キ 計画に関する諸条件（新たな知見の発見） (研究協力者の確保難) (装置の開発遅延) (機器の故障) (その他(内容)) ⑥ウ 資材の入手難 (資材及び資料の入手難) (マウス等実験動物の確保難) (その他(内容))	①エ 計画に関する諸条件（計画の変更） ⑦ア 研究に際しての事前調査 ⑦イ 研究方式の決定の困難 ③ア 気象の関係（豪雨） ③イ 気象の関係（豪雪） ③ウ 気象の関係（風浪） ③エ 気象の関係（その他）